

事業名 襖の下張り文書講習会

趣 旨 中越大震災で被災した家屋・土蔵から救済された襖下張り文書の剥離作業を体験することにより、歴史資料を保存することの重要性を普及・啓発する。

実施主体 長岡市立中央図書館文書資料室

参加対象 長岡市資料整理ボランティア

参加者数 延べ58名

回数 1回 日数 3日 時間 16時間

場所 長岡市浦瀬町資料整理室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月25日(木) ～10月27日 (土)午前10時 ～午後4時(初 日のみ午後1時 から)	中越大震災で被災した家屋・土蔵から救済された襖下張り文書の剥離作業を体験することにより、歴史資料を保存することの重要性を普及・啓発する。	(有)ゴトウ経装 後藤光晴 (表具師)
	内容・ 方法	講師による講義・実演見学。襖下張り文書の剥離作業の体験(剥離・乾燥・仕上げ等)。	

成 果

- ・ 資料整理ボランティアに剥離作業を体験してもらうことができた。
- ・ 襖下張り文書から長岡市の歴史に関する様々な古文書が発見された。
- ・ 普段見ることができない表具師の専門技術に触れることができ、歴史資料の整理・保存作業に対する認識を新たにすることができた。

課 題

- ・ 単年度事業にすることなく、対象を一般市民に広げるなどして、剥離作業の体験活動の継続をはかること。
- ・ 剥離した古文書の目録を作成し、市民の歴史研究への活用をはかること。

問合せ先 長岡市立中央図書館文書資料室(担当 田中洋史)
TEL: 0258-36-7832